

令和6年度普通会計決算認定特別委員会

令和7年10月10日（金）

〔委員会の概要 こども未来部関係〕

出席委員

委員長	福山	博史
副委員長	眞貝	浩司
委員	古野	司
委員	北島	一人
委員	竹内	義了
委員	岸本	淳志
委員	坂口	誠治
委員	岡田	晋
委員	川真田	琢巳

議会事務局

議事課長	郡	公美
議事課課長補佐	小泉	尚美
議事課主任	横山	雄大

説明者職氏名

〔こども未来部〕

部長	原内	孝子
副部長	犬伏	伴都
こども未来政策課長	河井	美智子
子育て応援課長	玉岡	あき子
こども家庭支援課長	吉田	恵司
男女参画・青少年課長	内海	三枝子
中央こども女性相談センター副所長	美吉	克春

〔出納局〕

会計管理者（出納局長兼務）	森	琢真
副局長（会計課長事務取扱）	大久保	彰

福山博史委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。（11時18分）

これよりこども未来部関係の審査を行います。

まず、理事者から説明を受けることにいたします。

原内こども未来部長

それでは、お手元の令和6年度普通会計決算認定特別委員会説明資料に基づきまして、御説明申し上げます。

3ページをお開きください。

令和6年度に実施いたしましたこども未来部の主要施策の成果の概要について、8項目を挙げております。

第1点目は、徳島県こども計画の策定・推進についてでございます。

こどもまんなか社会の実現に向け、県こども計画を策定、推進いたしました。

第2点目は、次世代育成支援対策の推進についてでございます。

希望する誰もが結婚し、子供を持つことができる社会を実現するため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない支援を実施しました。

第3点目は、こども・子育て支援の推進についてでございます。

子ども・子育て支援新制度の円滑な実施など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めてまいりました。

第4点目は、こどもの未来に向けた支援強化についてでございます。

徳島こども未来応援プランに基づき、深刻化する児童虐待に対応するため、こども女性相談センターや市町村の相談支援体制の強化をはじめ、ひとり親家庭の自立支援、こども食堂の全県的展開、ヤングケアラーの早期把握・支援など、子供が健やかに成長できる環境の構築に取り組みました。

第5点目は、青少年健全育成の推進についてでございます。

とくしま青少年プラン2022に基づき、関係機関と相互に連携・協力を図りながら、青少年の健全育成を推進するとともに、青少年センターの魅力ある管理運営を行いました。

第6点目は、男女共同参画社会の実現についてでございます。

徳島県男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画総合支援センターにおける各種事業の実施や、男女共同参画・女性活躍の機運醸成を推進するとともに、配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画に基づく相談・保護体制の充実や、よりそいの樹とくしまにおける性暴力被害防止対策の推進を図りました。

第7点目は、私立学校の振興についてでございます。

全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けることができる環境を構築するため、幅広い支援を行うことにより、私立学校の振興に努めました。

第8点目は、若者の県内就職の促進についてでございます。

大学生等の県内における就業を促進するとともに、若者の県内定着を図るため、徳島県奨学金返還支援制度の効果的な運用に努めました。

以上が、こども未来部における令和6年度の主要施策の成果の概要でございます。

次に、4ページをお開きください。

こども未来部の主要事業の内容及び成果についてでございます。

ここから10ページにかけまして、53事業に係る事業内容及び成果、決算額について記載しておりますが、説明については省略させていただきます。

続きまして、11ページをお開きください。歳入歳出決算額についてでございます。

まず、一般会計歳入決算額でございますが、最下段の計欄を横に御覧ください。

こども未来部全体で、予算現額31億6,732万5,000円に対しまして、調定額は27億

8,256万1,969円、収入済額は27億3,741万7,214円となっております。

また、不納欠損額は228万8,450円、収入未済額は4,285万6,305円となっております。

12ページを御覧ください。

一般会計歳出決算額でございますが、最下段の計欄を横に御覧ください。

こども未来部全体で、予算現額163億8,305万7,000円に対しまして、支出済額は150億5,423万2,826円となっております。

また、翌年度繰越額は1億6,537万5,000円、不用額は11億6,344万9,174円となっております。

13ページをお開きください。

最後に、こども家庭支援課が所管する母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計についてであります。

これは、母子家庭の母、父子家庭の父及びその児童、又は寡婦に対し、経済的な自立や生活意欲の助長を図るため、必要な資金の貸付けを行っているものであります。

歳入及び歳出の予算現額は、いずれも1億5,772万4,000円となっております。

これに対しまして、上段の歳入決算額でございますが、調定額は3億1,684万4,768円、収入済額は1億7,910万6,019円となっております。

また、不納欠損額は567万7,053円、収入未済額は1億3,206万1,696円となっております。

なお、収入済額が予算現額を上回った主な要因は、前年度からの繰越金を受け入れたことによるものでございます。

また、下段の歳出決算額につきましては、支出済額は6,511万1,795円、不用額は9,261万2,205円となっております。

なお、不用額の主な要因は、貸付金実績が見込みより少なかったことによるものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

御審議をどうぞよろしくお願いいたします。

福山博史委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは質疑をどうぞ。

竹内義了委員

1点お伺いいたします。

5ページの多様な子育て支援推進交付金事業で、市町村策定の子ども・子育て支援事業計画に沿って実施する地域子ども・子育て支援事業に対する補助が5億680万5,000円ということで、恐らく内容としては市町村の事業に対する補助金だろうと思いますが、その事業内容についてお示しいただきたいと思っております。

玉岡子育て応援課長

ただいま、多様な子育て支援推進交付金事業について御質問を頂きました。

この交付金は、市町村が地域の実情に応じて子育て支援サービスを提供することができるよう市町村の取組を支援することを目的としておりまして、具体的には子ども・子育て支援法に基づき、市町村子ども・子育て支援事業計画に沿って事業を実施する市町村に対して必要な経費を補助するもので、国、県、市町村、各3分の1の負担割合で実施しているものでございます。

当交付金の対象事業としましては14事業ございますが、主な実績といたしましては、一つは地域子育て支援拠点事業といたしまして、子育て家庭の孤独とか不安解消への対応ということで、地域の親子の皆さんの交流促進をしたり、育児相談ができるような場所を設けております。そのような拠点事業を実施しているところが20市町でございます。

また、乳児がいる家庭を訪問して、子育てについての情報提供であるとか養育環境の把握を行っている乳児家庭全戸訪問事業は21市町で実施、病気にかかっているお子さんについて、病院や保育所で設置された専用スペースで看護師の方などが一時的に行う病児保育事業は13市町で実施といった状況でございます。

事業について、その市町村によってどのメニューを取るかというところは、それぞれ異なるんですけれども、全ての市町村において交付金を活用した事業が実施されているところです。

竹内義了委員

市町村の子ども・子育て支援事業計画は、全市町村で策定されていますね。

玉岡子育て応援課長

御指摘の市町村子ども・子育て支援事業計画については昨年度、全市町村が策定いたしまして、今年度から5年間の計画で進めているところです。

竹内義了委員

全部で14事業の支援ということで今お示しいただいたように、いろんな支援事業があって、それぞれ取り組まれている自治体の差異もあると思いますが、例えば病児保育などでいえば、病院やそれなりの施設がないと自治体も取り組めないということもありますし、受入体制が整わないと、なかなか十分な病児保育が提供できないという実情もございます。

先ほどの病児保育事業でいえば13市町ということで、取り組めない自治体もあるわけで、そういう差異もございますけれども、メニューごとにそれぞれ取り組む自治体が違うということで、しっかりと連携をとって、それぞれの取り組むべき課題にしっかりと県が支援していただきたいと思いますが、今後の方向性などについて何かございましたら、お願いします。

玉岡子育て応援課長

ただいま、病児保育のお話が出ましたが、この交付金を申請しているところは13市町にはなっているんですけれども、病児保育事業自体は複数の市町村が、おっしゃるとおり受皿的にキャパが少ないというところで、より安定的な事業ということで、複数の市町村が共同で広域的に実施しているところがございまして、病児保育を行っている事業は令和6

年度末時点で23市町村で実施されている状況でございます。

今後の方向性ですが、市町村においては先ほど申し上げております計画に基づきまして、計画的に進めていただいているところではございますが、県におきましても昨年度策定いたしました徳島県こども計画におきまして、地域のニーズに応じた多様かつ総合的な子育て支援サービスの充実を掲げているところでございますので、地域の中で子供や子育て家庭をしっかりと支えられますように、こうした国の補助金の活用について、市町村への十分な情報提供と連携を図ってまいりたいと考えております。

竹内義了委員

確かに病児保育などでいうと、広域的に取り組まれているということで、多様なニーズがございますし、市町村が抱えている課題も多いと思いますので、是非しっかり連携をとっていただいて良い子育て環境が提供できますようお願いしまして、終わります。

岡田晋委員

それでは、4ページのとくしま結婚支援プロジェクト加速化事業の実施事業費3,292万円の予算執行についてお聞きします。

結婚したい人の希望がかなう環境整備について、マリッサとくしまを拠点として各種事業を行ったようですが、成果の上がった事業名と内容、そして投じた事業費を教えてください。

玉岡子育て応援課長

ただいま、とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業について御質問を頂きました。

県では結婚を希望する方々に出会いの機会を提供するため、結婚支援の拠点といたしまして、とくしまマリッジサポートセンター、略称マリッサとくしまでございますが、こちらを平成28年7月に開設しております。

マリッサとくしまにおきましては、マッチングシステムを活用しました1対1のお見合いや出会いイベントの開催、出会いから成婚までをフォローする阿波の縁むすびサポートによる支援ということで、一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援を行っているところでございます。

特に令和6年度におきましては、マッチング数の更なる増加に向け、これまでの年齢や職業といった条件によるお相手探しに加えまして、新たに性格とか考え方とか、内面的なところに着目した相性診断マッチングなどの開始、それから出会いの機会の創出として利用者のニーズに合わせた多様なイベントを企画し、令和6年度は92回と、マリッサ開設以来、最も多くのイベントも開催させていただいたところでございます。

こうした取組について、実績といたしましては、イベントへの参加人数が1,849名、そのうちカップルの成立した数は363組ということで、カップルに至った割合のカップリング率はおよそ40%といったところでございます。

事業費の内訳といたしましては、マリッサとくしまの運営事業は公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託しておりますので、委託経費といたしまして2,536万円、マッチングシステムの保守運用管理として250万円、その他、事務所の借上経費等で約

500万円でございます。

岡田晋委員

マリッサとくしまに丸投げの感が否めません。県として少子化対策の切り札である結婚支援を直接実施する必要がある事項について、アイデアをお持ちでしたらお聞きしたいと思います。

玉岡子育て応援課長

国が行っております調査によりますと、結婚を望む方の約半数が適当な相手に巡り会わないという結果もございまして、出会いの機会の不足が指摘されておりますとともに、昨年度実施しましたワークショップでは、中学生、高校生から結婚や子育てに対する不安、ネガティブなお声も聞かれたところでございまして、今後、特に若い世代に対して出会いの機会の創出、それから将来の結婚、出産といったライフイベントに対して夢や希望が持てるような意識醸成が必要と認識しております。

こうしたことから、本年8月、結婚支援やイベント企画にノウハウをお持ちの株式会社ときわさんと連携協定を締結いたしまして、今後、婚活イベントや情報発信に連携して取り組むこととしておりますほか、来月、11月には県内の大型イベントであります、にし阿波の花火大会とコラボした大規模な婚活イベントを開催するなど、民間企業、団体との連携強化によりまして、若い世代が気軽に参加、交流できるような機会を創出してまいりたいと考えております。

加えて将来の結婚、妊娠、出産、仕事も含めて、ライフデザインを考える機会を持っていただけるように、今年度は高校生、大学生、あるいは新社会人を対象としましたワークショップ形式でのライフデザイン講座を順次開催してまいりたいと考えているところでございます。

今後とも、マリッサとくしまを拠点とした結婚支援、官民連携による結婚支援ということで、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

岡田晋委員

子育て支援の施策はたくさんありますが、それを実施するには、そこにはまずは子供が存在しなくてはなりません。そのためには結婚支援が重要ですので、主管課であるこども未来政策課がマリッサとくしまと共に全力で取り組んでください。

次に、5ページのこのとり応援事業、実施事業費1,628万6,000円の予算執行についてお聞きします。

この事業の充実と復活要望について以前、委員会で質疑させていただきました。復活して本当に良かったと思います。復活以前の事業から変わった内容を中心に、実施された事業と実績について教えてください。

玉岡子育て応援課長

ただいま、このとり応援事業について御質問を頂きました。

この事業は、妊娠、出産を希望する方を支援するため、不妊症や不育症の検査、治療に要する費用の一部について助成を行っているものでございます。

令和5年度から妊孕性検査支援事業ということで、自分の妊娠する力、妊孕性といいますが、妊孕性を知るために御夫婦が受ける不妊検査費用に対して助成を実施するほか、令和6年度からは新たに不妊治療費助成事業として、体外受精や顕微授精といった生殖補助医療について費用助成を行う市町村に対して補助を行っているところです。

まず、妊孕性検査支援事業につきましては、将来の妊娠のための健康管理を促すことと、必要な方が早期に不妊治療に取り組むことができるよう、妊娠を希望する御夫婦を対象に1回2万5,000円ということで、不妊検査費用の一部を助成しております。

この制度がスタートした当初の令和5年度におきましては、保険適用外の検査費用を助成対象としていたところですが、令和6年度は医療機関など現場の御意見も踏まえまして、保険適用、適用外にかかわらず、医師が必要と認めた不妊検査の費用を対象とする制度拡充を行い、244件の助成実績となっております。

また、不妊治療費助成事業につきましては、令和4年度に不妊治療が保険適用となる前は、国の補助事業を活用し、生殖補助医療に要する費用の一部を助成しておりましたが、令和4年度から不妊治療の保険適用が始まりましたことに伴い、国、県、共に助成事業を終了したという経緯がございます。

しかしながら、保険適用後も自己負担額が高額な生殖補助医療につきましては助成を求める声が多くございまして、昨年度、令和6年度に不妊治療費助成事業を行う市町村への補助事業を創設したところでございます。

内容につきましては、1回の治療につき助成額5万円を上限に、その2分の1を県が補助するものでございまして、昨年度はこの県の事業を活用して11市町で実施されました。なお、今年度は24市町村、全ての市町村において、この補助事業を活用していただいているところでございます。

今後とも、こうした助成事業の周知広報、活用促進によりまして、安心して検査や治療を受けられる環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

岡田晋委員

子供を授かりたいとの思いに応えられるよう県独自での制度の拡充や、実施市町村の支援をお願いします。

続いて、6ページの放課後子ども総合プラン推進事業、実施事業費4,235万9,000円の予算執行についてお聞きします。事業の内容と実績をお聞かせください。

吉田こども家庭支援課長

ただいま、放課後子ども総合プラン推進事業の内容と実績について御質問がございました。

放課後子ども総合プラン推進事業につきましては、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができるよう、国の放課後児童対策パッケージに基づき、放課後児童クラブの運営の実施主体である市町村と連携しまして、放課後児童支援員等の資質向上に係る研修や、施設の整備、改修等の受皿確保に向けた取組を実施するも

のでございます。

具体的には、放課後児童支援員等の資質向上を図るため各種研修事業を実施したところ
でございます。延べ786名の放課後児童支援員等を対象に、配慮が必要な子供への支援
や運動遊びなど様々なテーマを設定し、講演やグループディスカッションを実施いたしま
した。

また、放課後児童クラブの受皿確保に向けた取組といたしまして、放課後児童支援員を
養成するための認定資格研修を実施したところでありまして、子供を理解するための基礎
知識や安全対策等につきまして集合研修、又はオンラインによりまして、それぞれ6日間
実施したところ、82名が修了したところでございます。

また、場の確保といたしまして、市町村が実施する放課後児童クラブの創設や改築等の
施設整備に補助を実施しておりまして、令和6年度は4市町7施設に対しまして計
3,903万3,000円の補助を実施したところでございます。

岡田晋委員

放課後児童クラブの拡充のためには、放課後児童支援員の労働時間の安定や待遇の向上
が欠かせません。県としての支援制度の拡充を要望して、質疑を終わります。

福山博史委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上でこども未来部関係の審査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（11時44分）